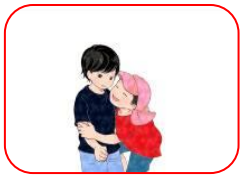
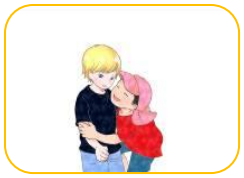
<table>
<tr><td>No.
③</td><td>分類</td><td>２－（２）　３－（１）</td><td>資料名</td><td>気持ちは同じ？！</td><td>関連領域</td><td>「人間関係」</td></tr>
<tr><td>資料について</td><td colspan="6">〇世界にはいろいろな国や地域があり、多様な人々がいることに気付くこと、思いやりのある想像力を引き出すことを意識して発問し、それぞれの発言を受け止めながら「気持ちは同じこと」に気付かせる展開を考え進めていく。
〇園・所や幼児の実態に合わせて、挿絵の提示や言葉かけを工夫して活用する。
A  B  C </td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="6">〇いろいろな国や地域があり、いろいろな人がいることに気付く。
〇思いやりのある想像力をもつ。</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="6">・目の色や髪質、言葉の違いを知り、思ったこと考えたことを言葉で表現したり、友だちの発言を聞いたりする。
・いろいろな考えに気付きながら、どんな可能性があるのかをイメージし多面的に物事を考える。</td></tr>
<tr><td>指導の観点</td><td colspan="6">・世界にはいろいろな国や地域があり、いろいろな人がいることに気付くよう、国旗絵本、地球儀、外国の絵本等を用意して親しむ環境をつくるようにする。
・学級に外国にルーツをもつ子ども※がいる場合、その子どもに対する思いやりのある想像力がもてるように、学級の実態に即して指導を重ねる。</td></tr>
<tr><td>展開例</td><td colspan="3">活動内容</td><td colspan="3">環境の構成・保育者の援助</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">① 自分の考えたことを言葉にして表す。</td><td colspan="3">□　Ａの挿絵を提示する。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="6">左の黒いＴシャツの子は、10日間入院をして幼稚園（保育園・所、こども園）を休んでいました。病気が治って初めて幼稚園（保育園・所、こども園）に来たよ。赤いＴシャツの子はどんな言葉をかけると思う？</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">【予想される幼児の発言】
・待っていたよ！
・元気になってよかったね！
・会いたかったよ。
・一緒に遊ぼう！</td><td colspan="3">□　自分の考えたことを自由に発言できるように、それぞれが発言する時間を確保する。
□　思ったことを自由に言っていいと感じられるように、一人ひとりの発言を肯定的に受け止め、自由に発言できる雰囲気を醸し出す。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="6">では、休んでいた子がこの子だったら？</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3"></td><td colspan="3">□　Ｂの挿絵を提示する。その際、黒いＴシャツの子は、日本語があまり理解できないことを伝える。</td></tr>
</table>

	活動内容	環境の構成・保育者の援助
展開例	② 友だちの考えを聞きながら、多様な見方、考え方があることに気付く。 【予想される幼児の発言】 ・そばに行って、待っていたよって言う。 ・拍手する。 ・ハローって言う。 ・元気よく笑う。 ・ニコニコ笑顔で近くに行く。	□ 自分にできることは何か、具体的に考えることができるように、言葉かけ以外のアプローチも例示したり、考えや工夫を認めたりしながらプラスの行動イメージが広がるように投げかける。
	Aの挿絵と違うところはどこかな。	
	【予想される幼児の発言】 ・目が青い。 ・髪が金色。 ・顔が違う感じ。 ・アメリカの子かな。 ・外国のどこかから来たのかな。	□ 何を見てそう捉えるのか幼児の想像力を引き出す。 □ 世界にはいろいろな国や地域があり、いろいろな人がいることに気付くことができるように、必要に応じていろいろな子どもが写った写真や国旗、地図絵本等を提示する。 □ 偏った思い込みに固定しないように、見た目が外国人でも日本語が堪能な場合や、見た目が日本人でも母語はまるで違う可能性もあることを話の中で盛り込んでいく。 □ Cの挿絵を見せる。 □ Bの挿絵の場合と同じ投げかけをする。 □ 髪や肌の色はいろいろで、髪質も生まれつき、いろいろあるという違いに気付くことができるように、身近な人の例なども提示し想像が広がるようにする。
	③ いろいろな思いやりの気持ちがあることに気付く。	
	赤いTシャツの子がそばに来ていたね。伝えたかったことは何かな？	

<table>
<tr>
<td>展開例</td>
<td>【予想される幼児の発言】
・待っていたよ！
・元気になってよかったね！
・「会いたかったよ」っていう気持ち

挿絵の子どもたちも一緒に遊びたいと思うかな。

【予想される幼児の発言】
・そりゃ楽しいから思うよ。
・一緒に遊ぼうって言う。
・なんて言っていいか分からない。
・お手本見せてあげる。
・私たちが楽しそうに遊んでいたら一緒にしたくなると思う。</td>
<td>□　違いはあっても、思いやる気持ちは同じということに気付くことができるように、一人ひとりの発言を受け止め「そんなふうに言われたら嬉しいな」「仲間だよって言ってもらっている気がするな」等と嬉しい言葉の共通項をイメージできる投げかけをしていく。

□　相手が誰であっても赤いＴシャツの子は思いやりの気持ちをもって接していることに気付けるように、幼児の発言を整理する。

□　違いはあっても、同じ気持ちを感じているということが実感できるように、今幼児が遊んでいる遊びを提示し、挿絵の子どもたちも一緒に遊びたいと思うかを問いかける。

□　世界にはまだまだいろいろな人がいることに気付くように、絵本や地球儀、写真などの資料を活用し提示する。

□　いろいろな面から捉え、相手の思いを想像し、自分にできることは何かを考えることができるように、幼児の発言を引き出しながら言葉を整理し、活動を進める。</td>
</tr>
<tr>
<td>資料の活用</td>
<td colspan="2">・「何をどう感じるか、どう考えるかはそれぞれである」が、「見た目は違っても、うれしい！楽しい！遊びたい！という気持ちは同じ」であるという気付きをもてるように、日頃から物・人・事と向き合い、豊かに想像したり、多面的に物事を考えたりすることのできる保育を意識して実践していく。
※本書における「外国にルーツをもつ子ども」とは
国籍に関わらず、父・母の両方またはそのどちらかが外国出身者である子どものほか、以下にあたる子どもも含む。「外国人幼児児童生徒等」「外国につながりのある子ども」とも言う。
・両親ともに日本国籍だが、外国で生まれ育った子ども
・外国に滞在経験のある子ども</td>
</tr>
</table>